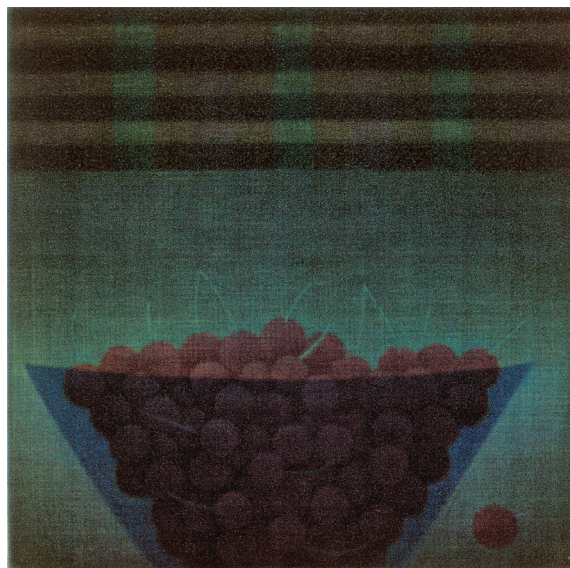
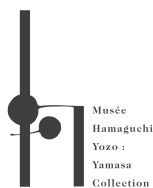


Y O Z O ・ H A M A G U C H I

浜口陽三名品展

生まれ出ずる光

4月3日へ火～5月6日へ日



①青いガラス 1957年 カラーメゾチント

展覧会概要

日時：2012年4月3日（火）～5月6日（日）

会場：ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション

入館料：大人600円 大学・高校生400円 中・小学生200円

休館日：月曜日（4/30は開館）

※4/7（土）、4/8（日）、4/28（土）は銅版画教室の為、1階会場が鑑賞しにくくなります。

※休館日、開館時間等は都合により変更する場合がございます。

イベント

銅版画教室

(1) 体験教室＜初心者向け＞

日時：2012年 ①4月7日（土） ②4月28日（土） 各日14：00-17：00

講師：江本創（アーティスト） 定員：18名 参加費：1800円+入館料

モノクロームメゾチント技法を使って製版から刷りまでを行い、1回の実習でポストカード大の作品を完成させます。

(2) 自由教室＜経験者向け＞

日時：2012年 ③4月8日（日）14：00-17：00 定員：15名 参加費：500円+入館料

当館で体験教室に参加したことがある方限定で作品制作の場所を提供いたします。（※技法はモノクロームメゾチントに限る。）

(1)、(2) 申込：往復はがきにて受付（抽選）。※①③3/26、②4/16 必着。

詳細はHPにてご確認ください。（HPが見られない方はお手数ですがお電話にてお問合せ下さい。）

ごあいさつ

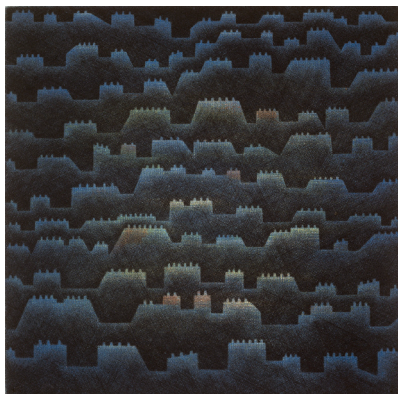
20世紀を代表する版画家の一人、浜口陽三の名品展を開催します。

浜口陽三（1909-2000）は、戦後いち早くパリに渡り、銅版画の新しい技法（カラーメゾチント）を開拓しました。その技法を使った作品は、国際版画コンクールで次々とグランプリを受賞し、オリンピックのポスターに使用されたこともあります。

浜口の編み出した技法のしくみは、現在のオフセット印刷とよく似ています。色の三原色である赤、青、黄、と黒の4色を刷り重ねて、色と影とを表現しました。しかし版画は手仕事で、気の遠くなる時間をかけて銅の板を一面に刻み、無限の広がり神秘的なニュアンスを作り出しました。

どの作品も闇の中に見えますが、息をひそめると、かすかな色が息づいているのが感じられます。実際の作品の前に立つと、闇の中に、ほんのりとやさしい光が見えてきます。小さな静物画でありながら、地平線の夜明けが重なってくるような壮大なスケールがあります。

この春の展覧会では、浜口陽三の代表作である「パリの屋根」「くるみ」など珠玉の作品約50点を展示します。



②パリの屋根 1956年 カラーメゾチント



③2匹のてんとう虫 1975年 カラーメゾチント

お知らせ

■ 浜口陽三作品をイメージしたオリジナルケーキを Afterhours さんに製作いただきました。本展覧会中の土日祝日に限り、カフェのメニューに登場いたします(数量限定)

■ 次回展覧会は『南桂子展 船の旅 ～詩と童話と版画の世界～』（5/12～7/31）を予定しております。

美術館概要

103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 1-35-7

ミュージゼ浜口陽三・ヤマサコレクション

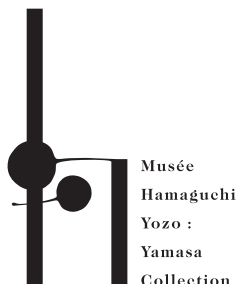
TEL：03-3665-0251 FAX：03-3665-0257

Email：musee@yamasa.com

HP：http://www.yamasa.com/musee/

アクセス：東京メトロ半蔵門線「水天宮前」3番

出口そば、日比谷線「人形町」A2 出口徒歩8分



Musée
Hamaguchi
Yozo :
Yamasa
Collection

プレスリリースご担当者様へ

展覧会取材いただけますよう、どうぞよろしくお願い致します。

画像を貸出しいたします。ご希望の番号①～③をお申し付けください。

この資料に関するお問合せは、広報担当：新田までご連絡ください。